
地下鉄-メトロ-

りす君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

地下鉄・メトロ・

【Nコード】

N2429B

【作者名】

りす君

【あらすじ】

東京の全てについて、
僻地^{へきち}出身である1人のキャリアウーマンが
感じた事をまとめた話

（前書き）

これは、正直見苦しい程つまらない小説ですが、東京の事に興味のある方は読んでみて下さい。

今日も地下鉄に乗る。明日も、その先も…。

私は東京に住んで5年目のキャリアウーマン。山岳地方の僻地出身だった私は、東京に初めて来た時は正直驚いた。

一番驚いたのは人の数。渋谷、新宿、池袋、六本木、銀座などを上京してから初めて回った時に気付いた。私の出身地とは比べ物にならないほどの人の多さ。人混みという言葉が初めて実感できたのもこの時だった。

次に驚いたのが、夜でも街が非常に明るい事だった。例をあげると

…、

“若者の街” 渋谷。

“サラリーマン街” 新橋。

“ベイエリア” お台場、豊洲^{しよす}、舞浜等。

などだ。24時間営業コンビニを見たのも上京してからだった。私は、夜中でも東京人は活発に活動している事を知った。

更に驚いたのは交通の便の良さだった。私の出身地では1日往復1桁の本数の列車しか通ってなくてとても不便だったが、上京してから列車も深夜まで走っているし、バスの本数もかなりある…便利すぎている。

話の本題に入ろう。私は、会社までの道のりに地下鉄を利用する。東京の地下鉄は行き先も多く、複雑で通勤するのに最初は困り果てたが慣れると使いやすい優れ物だ。

網目状に広がった路線図を見る度に複雑と思うがこれで参ってはい

けない。地下鉄はこれからどんどん発展していくらしい。庶民の足となるために色々改良されていて、私鉄との相互直通運転や大型デパートとの直結などがこれに挙げられる。

私はこれからも地下鉄を通勤の足として、生活の足として利用していくつもりだ。

（後書き）

この小説を読んで頂き、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2429b/>

地下鉄-メトロ-

2010年10月9日00時37分発行